



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「国際協力」。国内外の外国人支援や国際交流など、国際色豊かな市民活動団体を県内各地の市民活動センターから紹介していただきました。

情報提供：四日市市なやプラザ

NPO 法人 国際資源活用協会

〒510-0052 四日市市末広町 10 番地 ☎059-350-3771 ✉npoikrspkak@car.ocn.ne.jp



インドネシア研修生リサイクル石鹸づくり実習

シニアの技術能力（資源）を活かし地球環境の保全・国際協力および平和の推進に寄与することを目的に設立いたしました。

海外活動としまして、中国、韓国での食品会社（砂糖製造）の省エネ、生産性改良のコンサルタント事業がございます。また、フィリピンにおいて会員が火山灰地の改良とともに街角に山と積まれている生ごみの処理対策に取り組んでおります。

当協会事務所において JICA の海外環境研修生を対象に廃食油リサイクル活動紹介とリサイクル石鹸づくりの実習を行っております。

国内では、2005 年に開催されました「愛・地球博」に市民プロジェクトとして参加し、万博会場の使用済み食用油の回収と有効利用を行いました。これを契機に現在四日市市周辺のレストラン、食堂、幼稚園、市民センター、個人から使用済み食用油回収を行って、有効再利用により CO2 削減に取り組んでおります。

会員ならびに賛同者（賛助会員）は常時募集しております。気軽にお声をかけてください。

会員の経験、好奇心を活かした活動展開を目指しております。環境関連に限らず自らの経験を活かしたいと思う方、ぜひ入会していただき挑戦してください。

情報提供：津市市民活動センター

ホームステイ・イン津実行委員会

〒514-0112 津市一身田中野 421-1 ☎059-231-0050 ✉telly123@violin.ocn.ne.jp



第 22 回ワイワイガガフェスタの開会式

津市政 100 周年を記念し、来津した多数の外国人をホームステイさせる事業が会の出発点です。現在は活動範囲も広く年間多くの事業に取り組んでいます。

- 1、各国から大学、高校に来ている留学生や研修生および国際交流団体からの依頼によるホームステイ事業
- 2、三重大学留学生を対象とした第二の故郷（セカンドホーム）事業
- 3、世界の料理交流で会員相互の親睦を図る事業
外国人を講師に出身国の料理をみんなで作っています。
- 4、津祭り協賛フリーマーケットに出店し活動資金の一助にしています。
- 5、津市国際交流デーに参加しています。
当会の広報活動や、外国人に「着物の着付け」を行い、日本文化の一端を体験していただけます。
- 6、ワイワイガガフェスタの開催
当会の最大のイベントです。今年で 23 回目、多くの市民に親しまれるフェスタとなっています。

当会のホームページをご覧ください。
<http://homestay-in-tsu.org/>

会員数 130 名余の国際交流ボランティア団体で、津市を中心にさまざまな活動を行っております。「草の根の国際交流」「普段着のお付き合い」がモットーです。

NPO 法人 JAMBOF (Japan And Myanmar Bridge Of Friendship)

☎ 0598-59-1586 (事務局・竹守さん) ✉ takemori@mctv.ne.jp 🌐 <http://jambof.main.jp/>



ヤンゴンの僧院を訪れたときのようす

ミャンマー連邦（以下、ミャンマー）に惹かれ、思いのある人が集まり、日本とミャンマーの“友情の架け橋”となることを目的に2002年から活動しています。これまで現地に5カ所の小学校を建設、1カ所の孤児院の運営に携わってきました。現在は孤児院・僧院学校の支援に力を入れています。僧院学校は、貧しくて学校に通えない子のために僧院が無償で開放する“寺子屋”のようなもの。昨年12月には、メンバーがボランティアツアーを企画し、日本で寄付を集めた鉛筆（2320本）・ボールペン（393本）を現地の子どもたちに手渡し、交流を深めました。

また現地の声を聴き、生活に寄り添う支援を進めるなかで、新たに見えた課題の解決にも力を入れています。ミャンマーは途上国では珍しく、識字率90%を超えるほど教育熱心な一方で、児童書の数が少ない現状があります。そこで子どもたちに読書に親しむ機会を提供しようと、現在、移動図書館の開設（今年夏目標）へ向けて準備を進めています。

現地での活動以外にもミャンマーについて理解を深めてもらうために、市内でチャリティバザーや講演会などを開催しています。6/4（土）・5（日）には松阪マームでミャンマーの物品販売を行います（収益はすべて現地支援に役立てます）。活動に関心のある方は、お気軽にご連絡ください。

移動図書館は車でヤンゴン近郊の村、学校に本を運ぶ予定です。現地の日本人と連携し、車の調達、運転手との調整、本の準備等を進めています。ミャンマーの本はもちろん、日本の絵本も翻訳し、子どもたちに届けます。

いせ日本語教室

516-8601 伊勢市岩渕1-7-29 (伊勢市役所) ☎ 0596-21-5549 (国際交流協会事務局) ✉ kouryu@city.ise.mie.jp



ゆかたパーティー

“いせ日本語教室”は、伊勢市内外に住んでいる、または仕事などで関わっている外国の方に「日本語」を通じてお手伝いをしているボランティアグループです。

伊勢にも、それぞれの目的で、いろいろな国の方々が来られており、滞在期間も人により違っています。そのような方が伊勢、そして日本に居ることに困ることのないように、また、日本語でのコミュニケーションがとれるように、お手伝いをしています。

「日本語」の学習を支援することはもちろん、文化や行事等で交流したり、生活する上でのよろず相談に至るまで、さまざまな対応をしています。外国の方の日本での日々の生活が楽しくなったり、また帰国後も日本語の学習を続け更にレベルアップしてテストに合格したとの嬉しいお話を聞くこともあります。私たちスタッフは、特に“日本語”の支援をする上で、必要な知識やスキルを身につけるため、専門家の講座を受ける等、意識の向上を目指し、日々努力をしています。

まずはお電話ください！

現在、いせ市民活動センター2階で、週2回（火曜日：10時～11時半と木曜日：19時～20時半）、教室を開催しています。一度、見学に来てください。